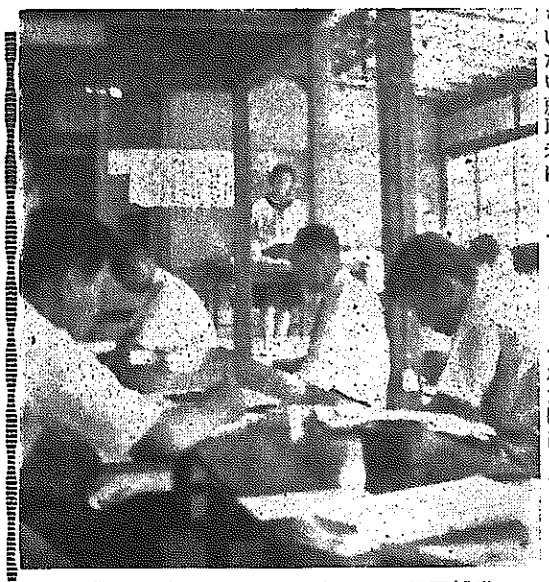
健全な厚生施設を

白根市出身者のつどい

東京新潟県人会館で開催

―集団就職してから三カ月か四カ月目に一番つらい時期がくる―といわれています。こんなころを見はからって、市内の各中学校長と職業指導主事は、その年の集団就職者を一カ所に集め、毎年「白根市出身者のつどい」を行なっています。ことしは、八月三日、東京新潟県人会館で、四十二年三月に卒業した就職者と、上京した十四人の先生が話し合い、卒業生からたいへん喜ばれました。



卒業生を励ましたりして喜ばれた集団補導

就職してまだ月日が浅いため、外出することも話し相手もいない就職者にとって、このつどいはかけがえのない交流の場といえましょう。

それだけに、いっしょに就職した人たちが集まると、いままで知らなかった他校の卒業生ともすぐ仲良しになり、郷土の話に花が咲いたのか、会館の中は笑いがいっぱいでした。つどいにはいって、翌の「いまは苦しくとも、それに耐え、職場を変えることなく最後まで勤めてください。それが自分の地位を築くために大切なのです」という体験をとおした激励のことばがあり、ついで卒業生は、し相手や友だちがいないため辞めようと思った。こんなとき東京白根会の幹事や先輩の人たちから励まされ、勤めを続けています」と感想発表しました。このあと卒業生との話し合いにはいり、つぎのことがわかりました。

①日曜や祭日などの休みには食事が出ない②休みにはまだ外出できないので、図書館などの健全な厚生施設が必要だ③中小企業へ勤めたり、縁故で勤めたりした人は労働時間が長い。それにくらべて、大企業に就職した人は、定時制にかよわせたりして教育が徹底している。大企業と中小企業の差がはっきり出てきた。

佐藤会長の話「就職して日が浅く、馴れない大都会で不安定な心境にある教え子を、故郷の母校の立ち場から激励し、卒業生から喜ばれた。また、立派な先輩をもった喜びとその後継者としての決意を新たにさせることができた」

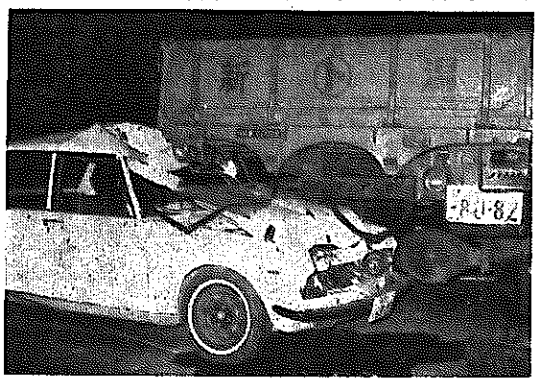
市道舗装 ことしは千八百メートル

～学校小路は一部新設舗装～

今年度中に舗装される市道は、新町通り線二百八十五㍍、仙庵小路線三百八十六㍍、学校小路線三百十一㍍、庄瀬上町線四百三十㍍、白根―蔵主線四百二十二㍍の計千八百六十四㍍です。

この五本の舗装にかかるお金は約千八百万円です。

―赤色の点滅―歩行者は他の交通に注意して進み、車輛は交差点の前で一時停止し、安全を確認して進んでください。なお、警察官の手信号と信号機の燈火がちがう場合は警察官の手信号に従ってください。**国道八号線神屋地内での事故現場**



【1】アッ！危ない

〝交通戦争〟こんなことばが使われ出したのはつい3、4年前のことです。いま全国には1億の人と約880万の車があり、わたしたちはこの中で生活しているのです。交通事故から自分を守り、事故をなくすには、みんなが交通マナーを知りそれを守ることが一番だと思います。そこで「アッ！危ない」という欄を設け、毎月の事故件数や交通のルールを連載してゆきます。家族の団らんや会議の時に話し合われればさいわいです。

8月の交通事故

事故25件　負傷36人

先月中に発生した事故は二十五件で、死者はゼロ、負傷者は三十六人でした。事故がおきた場所は、国道八号線が一番多く、全体の五十㌫以上を占めています。中でも中部排水機付近（根岸地区）中央通りの十字路、新飯田の十字路などが多いようです。

事故の原因

運転者の不注意が80㌫

事故の原因のうち約八十㌫が運転者の不注意です。その原因は、わき見、いねむり運転、スピードの出しすぎ追い越し不適当などです。

先月中におきた大きな事故は、十六日に中部排水機付近でいねむり運転のため四人が負傷したのと、同じ日に新飯田地区丸潟地内でわき見運転のため七人が負傷した二件です。

交通のルール

信号機のきまり

―青色は進め―歩行者は直進が、自動車や原動機付自転車は直進と右折ができます。自転車やリヤカーなどは左折と直進ができます。ですから、右折したい場合は、まず直進して、交差点の角で待ち、青になったら直進してください。

―黄色は注意―人や車などすべて止まる。もし、青色のときに交差点や横断歩道、踏み切りなどにはいっていた場合は、すぐ出てください。

―赤色は止まれ―人も車もすべて止まってください。

九月二十日 厚生会館で 税務相談所

〝資産税関係についてくわしく知りたい〟こんな人のために九月二十日の午前十時から午後三時まで、産業厚生会館で「税務相談所」を開設します。

これは、新潟税務署に資産税、相続係が新設されたため、資産税はもちろん、相続税、譲渡税、所得税など資産税関係全般について無料で相談に応じようというものです。

この日は、新潟税務署から相談員が出張してきますのでわからないことやくわしく知りたいかたは気軽るに相談ください。なお、この相談日以外でも相談に応じています。いつでも、電話（新潟㉙二一五一）なり直接出向くなりして問い合わせください。

35キロマラソン 一位に広沢信雄さん

九月三日（日）、「国体予選（三十五キロ）と第九回本州横断郡県対抗東京―新潟間駅伝県予選（大野―味方間折り返し）十三キロ」が国体予選の成績と駅伝の成績はつぎのとおりです。

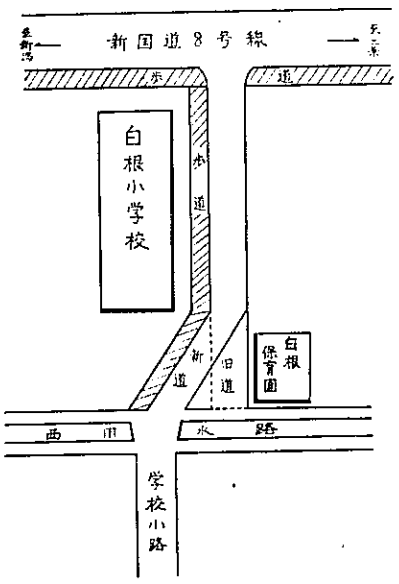
【国体予選（大野―茨曾根間折り返し）35キロ】

①広沢信雄（国士館大）2時間8分8秒②小沢（自衛隊高田）2時間11分46秒③水沢（同）2時間15分46秒④東条（日曹二本木）⑤渡辺（巻工OB）

【第9回本州横断郡県対抗東京―新潟間駅伝県予選（大野―味方間折り返し）十三キロ】

①加藤光男（新潟鋼機）42分12秒②南（国士館大）42分16秒③赤堀（柏崎工）42分37秒④小林（北陸ガス）⑤阿久津（五泉陸協）⑥土肥（柏崎工）

なお、この日駅伝のメンバー十八人の本県代表を決める選考会がありましたが、結論が出なかったため、最終選考は十日に持ち越した。



学校小路の一部新設道路図（白根地区）

このうち、学校小路線についてちょっと説明します。

左の図をごらんください。学校小路はいまの道をそのまま舗装し、いま空き地になっている校舎の跡に幅五㍍の道が、これが完成すると、仙庵小路と学校小路の二本が増え計四本になり、交通緩和にひと役買うことになるでしょう。なお、この工事が終ると新町通り線は三分の二が庄瀬上町線は全線が、仙庵小路全線も全線が、学校小路線もそれぞれ舗装されます。

二輪車の届けは税務課へ

原動機付自転車、自動二輪車、三輪車、四輪車の申告はお済みですか。この申告は、盗難にあった車や交通事故にあった車の持ち主を調べるのに重要な資料になります。

市の関係では百二十五㏄までの二輪車の登録を税務課で扱っています。

二輪車を買った、もらった、交換した、という場合は、車種の変更届け、車台番号、車の型、型式認定番号などを、すぐに税務課へ届け出てください。

鉛筆と

市役所本庁の二階に商工課があります。同課には、商工係と観光物産係があり、各係ではつぎのような仕事を行なっています。

商工係

ここでは、市の商工業を活発にするため、工場誘致や産業育成資金などいろいろな融資を取り扱っています。また商店街を明るくするため水銀灯などの設置にも力を入れてきました。

最近工場誘致したものに新潟鋼機、村山工場、日立建機などがあります。

なお、仏檀などいろいろな技術講習会も行なっています。

観光物産係

大凧合戦などの市内の観光を全国に紹介して、市の観光を宣伝したり、観光みやげ品や仏檀などの物産を県内外に紹介したりしています。

いま力を入れて取り組んでいるものに、観光果樹園の設置があります。市内には、大凧合戦を除いてこれといった観光資源がありません。そこで目をつけたのが、市内に豊富にある果樹畑です。これを活用しようと五年計画でそれを進め、いままでに鷲ノ木と新飯田の二つが完成しています。

たばこの火最高は九百度以上に

全国の火災原因中、ここ数年第一位をしめているのが「たばこ」です。そこで、たばこの燃焼温度などを実験データーにもとずいて説明してゆきます。

火のついたたばこをそのままにしておくと全部燃えるのに約二十五分かかり、その温度は、六百度から七百五十度にものぼります。中心部では九百度を越えていることがわかりました。

火のもとには充分注意して火事を出さないようにしてください。

お知らせ

8日 10月 県職員の採用試験

県人事委員会は、つぎのような方法で県職員の採用試験を行ないます。くわしく知りたいかたは人事委員会（電話㉗五五一一）へ問い合わせください。

1.試験区分　㋑一般事務㈱、㋺技術関係の三種類です。

2.申し込みの方法　申し込み用紙は県人事委員会事務局にあります。郵便の場合は、封筒の表に「初級用紙請求」と朱書し、十五円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封してください。

3.申し込み先　申し込み用紙に必要事項を記入して、新潟市一番堀通り町、県庁分館内、新潟県人事委員会事務局へ提出してください。郵送の場合は、封筒の表に「初級受験」と朱書してください。

4.申し込み期限　九月二十三日（二十三日の消し印有効）受け付け事務は、平日午前九時から午後五時まで土曜は正午まで行なっています。

5.試験日と試験地　十月八日（日）に新潟市で行ないます

新潟博記念ブック

新潟日報社は、七月八日から八月三十一日までの五十五日間、新潟市で開かれていた「開港百年、震災復興記念新潟大博覧会」を発売しました。

この記念ブックは、期間中に約百二十万人の参観者があった新潟博をいつまでも世に残そうと編集したものです。

同記念ブックは一部二百円です。百部しかありませんので希望のかたは九月三十日まで市役所の総務課庶務係へ申し込みください。

十月の農地相談室

農業委員会は、来月の農地相談室をつぎのとおり開きます。農地の売買、交換、転用などすべての農地問題は、近くの相談室へ気軽るにご相談ください。

	在室	巻	瀬	井	田
10月	駐				
17日	鷲	庄	臼	新	飯
18日					
19日					
20日					

お知らせ

施設見学会 申し込みは9月18日

みなさんの納めた税金が市勢発展にいかに役立っているか、また、税金の力でどんなものがつくられているか、などを直接市民のみなさんから見てもらおうと「市の施設を見学する会」をつぎのように計画しました。ハイキングにでも出かけるようなかるい気持ちで参加ください。

1.見学会の日時　九月二十五日午前九時から午後四時まで

2.申し込み方法　ハガキや電話、ことずけなどどのような方法でもけっこうです。

3.申し込み先　白根市役所、企画審議室企画係、電話㉗二一一一番

4.締め切り日　九月十八日（当日の消し印有効）

5.募集人員　五十人（応募者多数の場合は抽せんで決め当たったかたには文書で連絡します）

6.参加費　無料で全コースを案内しますが、集合場所までの交通費は負担願います。

7.集合場所　産業厚生会館

8.見学するコース　産業厚生会館→白根浄水場→母子健康センター→乳児保育園→給食センター→し尿処理場→ゴミ焼却場→火葬場→ライスプラント→観光果樹園